

第49回学術集会レポート表彰式

研究委員会委員長

木村 宏

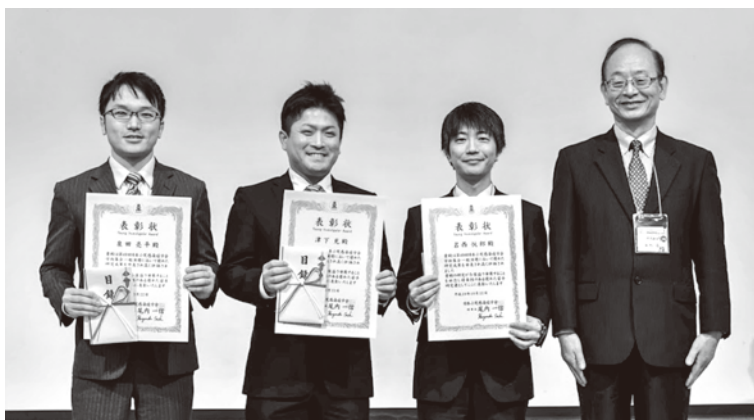
Young Investigator Award (YIA) は学術集会に応募した会員で、筆頭著者が翌年4月の時点で40歳未満であり、まだ本賞を受賞したことのない方から、優れた研究を行い将来性の高い3名を選ぶものです。研究委員会で事前審査した10名の中から、学術集会における発表と質疑を踏まえて、全ての理事と評議員が審査員となって最終選考を行いました。ただし、Pediatric Academic Societies (PAS) 年次集会での発表者を日本小児科学会へ推薦する締切日が本学術集会の開催よりも前になるため、YIA 候補者の中から英語での発表能力などを示す資料をもとに1名のみは研究委員会で事前に選出し、自動的に YIA 受賞者の一人とし、残りの2名を学術集会当日の発表を受けて選出いたしました。

受賞者へは副賞として、Asian Society for Pediatric Research (ASPR) などの国際学会に参加し研究内容を発表するための補助費として、10万円を贈呈いたします。なお、事前に選出した YIA 受賞者が PAS への推薦を受けることができた場合には、本学会からの副賞は出ません。

本年の YIA 受賞者と演題名は以下の通りです。

「川崎病におけるバイオフィルム制御薬クラリスロマイシンの臨床効果に関する検討ー多施設共同ランダム化比較第Ⅱ相試験ー」本演題は、PAS 発表者候補演題でもあります。

九州大学病院 小児科 名西 悦郎先生



YIA 受賞者3名

左から泉田 亮平先生、津下 充先生、名西 悦郎先生、尾内一信理事長です。



名西 悦郎（なにし えつろう）先生
（九州大学病院 小児科）

津下 充（つげ みつる）先生
（松山赤十字病院 小児科）

泉田 亮平（いずみたりょうへい）先生
（新潟大学大学院医歯学総合研究科
小児科学）

「胎児発育不全を認めた妊婦におけるサイトメガロウイルス母子感染の臨床的検討と胎盤の病理学的検討」

松山赤十字病院 小児科 津下 充先生

「新生児・早期乳児におけるヒトパレコウイルスとエンテロウイルス感染症の家族内伝播の検討」

新潟大学大学院 医歯学総合研究科 小児科学分野 泉田 亮平先生

次に、ポスター賞の表彰を行いました。こちらはYIAとは異なって年齢制限はなく、ポスターセッションの活性化や、YIAとは異なった観点から小児感染症研究に勤む会員を鼓舞することを目的としています。選出方法は以下の通りです。まず学術集会ポスター発表に登録された演題の中から、研究教育委員会が24題の候補演題を事前に選出しました。学術集会初日、全ての理事および評議員が審査員となって、実際にポスターを閲覧して投票を行い、集計後得点の高かった以下の10名を選出しました。

以下、本年度のポスター賞の受賞者と演題名です。

「新生児、早期乳児におけるヒトパレコウイルス3型感染症とエンテロウイルス感染症の臨床像の違い」

新潟大学大学院 医歯学総合研究科 小児科学分野 泉田 亮平先生

「2008年-2017年の9年間で久留米大学病院小児科外来にコッホ現象疑いとして紹介された50症例の検討」

久留米大学医学部 小児科学講座 多々良 一彰先生

「急性胃腸炎患児におけるロタウイルスワクチン株の検出と解析」

東京大学大学院 医学系研究科 発達医科学教室 高梨 さやか先生



ポスター賞受賞の10名

左から戸澤 雄介先生, 中村 祥崇先生, 荒木 孝太郎先生, 岡本 浩之先生, 大北 恵子先生, 尾内 一信理事長, 高梨 さやか先生, 鶴飼 智子先生, 多々良 一彰先生, 井上 健斗先生, 泉田 亮平先生です。泉田先生は YIA とダブル受賞です。

「当科で解析を行った乳幼児自己免疫性好中球減少症の臨床的検討」

金沢大学医薬保健研究域医学系 小児科 岡本 浩之先生

「臨床像から見た乳児インフルエンザ感染症に対するオセルタミビルの必要性に関する検討」

関西医科大学 小児科学講座 中村 祥崇先生

「X連鎖リンパ増殖症候群2型におけるHHV-6 DNA高コピー数は再活性か？」

東京医科歯科大学 発生発達病態学分野 井上 健斗先生

「ムンプスワクチン接種率の低い地域における保護者の接種行動に影響する因子の検討」

新潟県立十日町病院 小児科 鶴飼 智子先生

「侵襲性溶連菌感染症のemm型分析」

東京都立小児総合医療センター 感染症科 大北 恵子先生

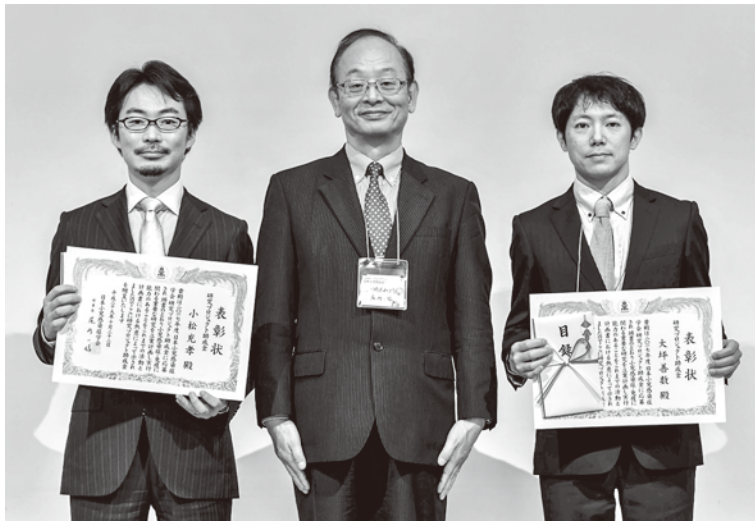
「ブドウ球菌性熱傷様皮膚症候群から分離した黄色ブドウ球菌の細菌学的検討」

東京都立小児総合医療センター 感染症科 荒木 孝太郎先生

「先天性葉酸吸収不全症の2例」

北海道大学大学院医学研究科 小児科学分野 戸澤 雄介先生

最後に、研究プロジェクト助成金の説明を致します。これは小児感染症・免疫にかかわる研究を奨励し援助することを目的に、平成18年度から開始しました。当初は研究奨励賞という名称でしたが、2011年より名称変更しております。特に研究費の捻出が困難な一般病院や開業医の先生方の応募を強く歓迎し募集しているもので、受賞者には40万円の研究助成金が授与されます。義務として奨励金使途およ



研究プロジェクト助成金受賞者2名

左から小松 充孝先生、尾内 一信理事長、大坪 善数先生です。

びそれによる研究成果の概要を、学会誌において報告し、また研究成果は本学会学術集会においても発表していただきます。

本年の研究プロジェクト助成金受賞者と演題名は以下の通りです。

「日本在住小児に発症した伝染性膿痂疹に対するフシジン酸の有効性」

賛育会病院 小松 充孝先生

「感染性および非感染性子宮内炎症における臍帯血サイトカインプロファイルと凝固線溶系動態の比較検討」

佐世保市総合医療センター 大坪 善数先生